

小中一貫校 南アルプス市立豊小学校 学校だより



梨の花

令和7年10月31日発行
文責 井上武人

- ◆学校教育目標 『たくましく 心豊かな 子どもの育成』
- ◆具体目標 「かしこく」 自ら学び、深く考える子ども
「なかよく」 感動する心と思いやりの心をもつ子ども
「たくましく」 自分の体を守り、鍛える子ども

豊小学校HP(ホームページ)アドレス <http://www.yutaka.m-alps.ed.jp/>

歴史と未来を体感！6年生 学びと感動の旅

10月1日(水)から3日(金)の2泊3日で神奈川・東京方面への修学旅行を実施しました。秋のすがすがしい気候の中、大きな実りを得た3日間となりました。

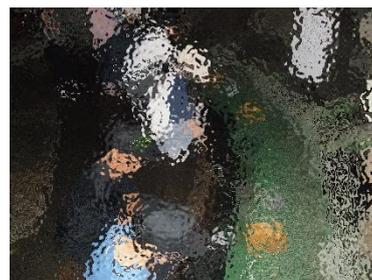
1日目は鎌倉散策。子どもたちは事前に計画した班別コースを敢行。高德院(鎌倉の大仏)や鶴岡八幡宮などを巡り、歴史の重みに触れるとともに、班の仲間と協力する大切さを学びました。

2日目の横浜・八景島シーパラダイスでは、巨大な水槽で見る海の生き物たちに、子どもたちは大きな歓声を上げていました。島内のアトラクションにも乗車し、水族館の学びと遊園地の楽しさを満喫しました。

最終日の第五福竜丸展示館では、70年前に起きた事件について、係りの方の説明を真剣に聞き、船体の保存状況を目の当たりにしました。

「核兵器の恐ろしさ」と「平和の尊さ」について改めて深く考え、戦争や原水爆のない世界を願う気持ちを新たにしていました。国立科学博物館では、恐竜や科学技術の展示に圧倒され、知的好奇心を刺激されたようです。旅の締めくくりは東京タワーからの雄大な景色を眺めました。

この3日間は、ただ楽しいだけでなく多くを学ぶ充実した3日間となりました。この貴重な経験を、今後の学校生活、そして成長の糧としてくれることを期待しています。



地域ふれあい道徳・教育を語る会

10月9日(木)、「地域ふれあい道徳公開授業」と「豊地区教育を語る会」を開催しました。当日は、多くの保護者の皆様に御参加いただきありがとうございました。道徳の授業は、1年生は『ハッピーチェンジ』、2年生は『みほちゃんとなりのせきのますだくん』、3年生が『は、は、はたらく!?!』、4年生が『よせなべ』、5年生が『いじめ予防弁護士出前授業』、6年生が『〇〇しながら』。5年生はゲストティーチャーとして弁護士の方2名を迎え授業を行いました。

道徳公開授業の参観に続き、山梨県教育庁社会教育課の●●●●氏を迎え、「今こそ考えよう!スマホやゲーム機の使い方」と題した講演会を行いました。ゲームやSNSなど、現在のネット社会における問題点やその対処方法、ネットやゲーム機のよりよい使い方についてのお話をいただきました。

第4支会 陸上記録会

10月16日（木）に予定されていた第4支会小学校陸上記録会は、あいにくの天候不順のため、一日延期となり、翌17日（金）に日世南アルプススタジアムにおいて開催されました。楡形地区から4校、若草地区から2校、甲西地区からは3校が集まり、計9校合同での開催となりました。前日の延期という事態にも、子どもたちは気持ちをしっかりと切り替え、この日を迎えました。スタジアムは、地域の小学校が一堂に会したため熱気と歓声に包まれました。競技は、100m走、60mハードル走、800m走（女子）、1000m走（男子）、走幅跳、走高跳、ボール投、そして4×100mの全8種目が実施されました。

6年生は、この大会に向けて、体育の授業や放課後の時間を使い、一秒でも速く、少しでも遠く、高くを目指して真摯に練習を重ねてきました。練習において、特筆すべきは、小中一貫教育の取組の一環として、中学校の先輩たちが指導に来てくれたことです。各種目の専門的な技術や効果的なウォーミングアップの方法を丁寧に教えてくれました。身近な先輩からの具体的なアドバイスは6年生にとって大きな刺激となり、技術だけでなく、競技への意識も大きく向上しました。延期による気持ちの乱れも、この合同練習で培った先輩から託された自信が支えとなりました。これまでの努力と先輩の教えを胸に、子どもたち一人一人が、自己の目標に向かって精一杯競技に臨んでいました。

限られた時間の中での練習ではありましたが、本校からは多くの子どもたちが入賞を果たしました。さらに、入賞の有無にかかわらず、多くの子どもが練習時よりも良いタイムや記録を出す、自己ベスト更新を達成することができました。延期の試練を乗り越えた集中力が、良い結果につながったと言えるでしょう。

この陸上記録会で得た「挑戦する心」や「努力の尊さ」、そして「予期せぬ困難を乗り越える力」は、今後の学校生活、そして中学校進学後の活動において、子どもたちの大きな糧となることでしょう。この経験をバネに、ますますの活躍を期待しています。

親子弁当づくりの日

本校の給食活動は、昭和初期から続く長い歴史を持ち、その中で培われた食育への取組は、数々の栄誉に輝いています。昭和36年の文部大臣賞受賞をはじめ、平成24年の全国学校給食甲子園特選受賞、平成25年の文部科学大臣表彰など、輝かしい伝統を築いてきました。この歴史ある給食活動の核となる取組の一つが、「親子弁当作り」です。11月17日（月）に実施する本活動には、次のような目的があります。

- ①知識と技能の習得：お弁当作りを体験することで、栄養バランス、調理技能、食品の流通など、食育にかかわる知識と技能を養います。
- ②家庭での対話：食について親子で話し合い、関心を深める機会とします。
- ③感謝の心を育む：自分で作った満足感を味わうとともに、家族の支えへの感謝の気持ちを養います。

この貴重な体験を通して、子どもたちの食への関心と感謝の心を育むため、保護者の皆様の御協力が不可欠です。伝統ある食育活動への御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

